

# CKD 重症度分類

CKDの重症度分類(CKD診療ガイド2012)

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病関連腎臓病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr 比 (mg/gCr)	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		30未満	30~299	300以上
高血圧性腎硬化症 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr 比 (g/gCr)	正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/分/1.73m)	G1	正常または高値	≥90	
	G2	正常または軽度低下	60~89	
	G3a	軽度~中等度低下	45~59	
	G3b	中等度~高度低下	30~44	
	G4	高度低下	15~29	
	G5	高度低下~末期腎不全	<15	

重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、CVD 死亡発症のリスクを緑■のステージを基準に、黄■、オレンジ■、赤■の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。(KDIGO CKD guideline 2012を日本人用に改変)

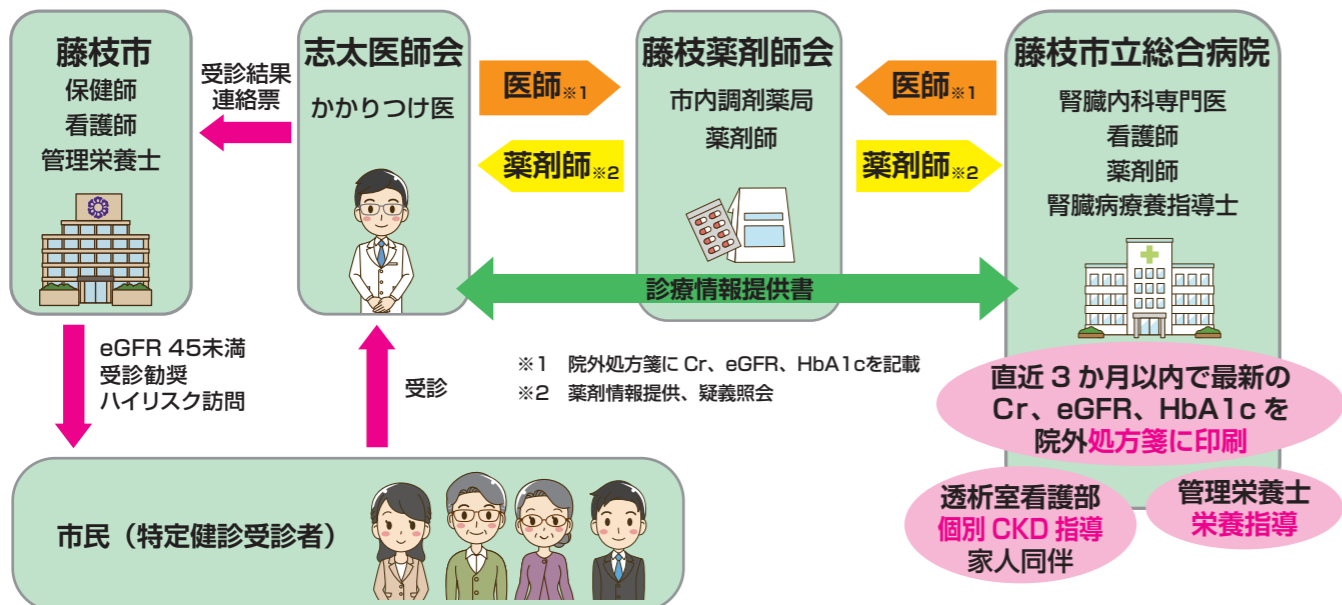
注：わが国の保険診療では、アルブミン尿の定量測定は、糖尿病または糖尿病性早期腎症であって微量アルブミン尿を疑う患者に対し、3カ月に1回に限り認められている。糖尿病において、尿定性で1+以上の明らかな尿蛋白を認める場合は尿アルブミン測定は保険で認められていないため、治療効果を評価するために定量検査を行う場合は尿蛋白定量を検討する。

日本腎臓学会編 CKD 診療ガイド 2024、東京医学社、2024

## ふじえだ CKD ネットの取り組み

ふじえだ CKD ネットは、市民の CKD 重症化予防を目的とした地域医療の連携を目指しています。

市内医療機関へCKDネットマニュアルを配布



※1 院外処方箋にCr、eGFR、HbA1cを記載  
※2 薬剤情報提供、疑義照会

直近3か月以内で最新のCr、eGFR、HbA1cを院外処方箋に印刷

透析室看護部 個別CKD指導 家人同伴  
管理栄養士 栄養指導

ふじえだ CKD ネット 2016年3月開始

# ふじえだ CKD ネットマニュアル 2025 概要版

## CKD シールの配布基準

対象の方にはお薬手帳(カバー)にシールを貼ります。

シールの種類



全年齢:eGFR 30 未満



65歳未満:eGFR 30以上、50未満  
65歳以上:eGFR 30以上、45未満

詳しくはこちら



ふじえだ CKD ネットマニュアル

## かかりつけ医から 腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準

該当する方は腎臓専門医に一度はご紹介ください。



原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病関連腎臓病	尿アルブミン定量(mg/日) 尿アルブミン/Cr 比(mg/gCr)	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		30未満	30~299	300以上
高血圧性腎硬化症 腎炎 多発性嚢胞腎 その他	尿蛋白定量(g/日) 尿蛋白/Cr 比(g/gCr)	正常(-)	軽度蛋白尿(±)	高度蛋白尿(+~)
		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/分/1.73m)	G1	正常または高値	≥90	血尿+なら紹介、蛋白尿のみならば生活指導・診療継続
	G2	正常または軽度低下	60~89	血尿+なら紹介、蛋白尿のみならば生活指導・診療継続
	G3a	軽度~中等度低下	45~59	40歳未満は紹介、40歳以上は生活指導・診療継続
	G3b	中等度~高度低下	30~44	紹介
	G4	高度低下	15~29	紹介
	G5	高度低下~末期腎不全	<15	紹介

上記以外に、3カ月以内に30%以上の腎機能の悪化を認める場合は速やかに紹介。

日本腎臓学会編 CKD 診療ガイド 2024、東京医学社、2024

## 蛋白尿・アルブミン尿の評価

CKDは血液検査と尿検査で判断できます。尿検査も忘れずに!



	A1	A2	A3
アルブミン尿	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿 (ネフローゼ)
尿アルブミン排泄量 (mg/日)	<30	30~299	≥300
尿アルブミン/Cr 比 (mg/gCr)	<30	30~299	≥300
蛋白尿	正常	軽度	高度 (ネフローゼ)
尿蛋白排泄量 (g/日)	<0.15	0.15~0.49	≥0.50
尿蛋白/Cr 比 (g/gCr)	<0.15	0.15~0.49	≥0.50
試験紙法での目安	(-)~(±)	(-)~(2+)	(1+)~(3+) (3+)~(4+)

日本腎臓学会編 CKD 診療ガイド 2024、東京医学社、2024